

ご使用に際して、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

《解熱鎮痛薬》

ケロミン

第②類医薬品



使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 出産予定日 12 週以内の妊婦。
- (4) 15 才未満の小児。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください

(眠気があらわれることがあります。)

4. 服用時は飲酒しないでください

5. 長期連用しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

使用上の注意については、裏面もよくご覧ください。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

(2)5～6回服用しても症状がよくなる場合

効能又は効果

- 1)頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 2)悪寒・発熱時の解熱

用法及び用量

次の1回量を、1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。

服用間隔は6時間以上おいてください。

15才以上 1回 1包

15才未満 服用しないでください

〈用法及び用量に関連する注意〉

定められた用法及び用量を厳守してください。

成分及び分量

1日量2包(1包:1000mg)中に次の成分を含んでいます。

アスピリン.....1200mg

プロモバレリル尿素.....200mg

無水カフェイン.....100mg

添加物として、ケイヒ、無水ケイ酸及びバレイショデンプン含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4)使用期限(外袋に記載)を過ぎた製品は、服用しないでください。

問い合わせ先

テイカ製薬株式会社 お客様相談係
電話番号:076-431-8863【医薬情報部】
受付時間:9時から17時まで
(土、日、祝日を除く)

発 売 元 大協薬品工業株式会社
富山市水橋島等173

製造販売元 テイカ製薬株式会社
富山市荒川一丁目3番27号

A10-07